

みんなの知りたい！ なんでも Q&A

茨木学芸員



今週のテーマは

水面を覆い尽くす水草 ～ボタンウキクサ～

文：徳島県立博物館・茨木靖学芸員
絵・デザイン：徳島新聞写真美術部・大塚吉雄

Q.ボタンウキクサってどんな植物なんですか？

びっけりするような大量の水草が、川一面を覆い隠すことがあるんだけど、みんなは見たことがあるかな？ ボタンウキクサというこの植物はいろんな問題を引き起こすこともあるんだ。今回はこの水草についてお話しするよ！

Q.ボタンウキクサは、どんな場所に自生していますか？

A 水の流れの緩やかな川や水路、池などいろいろなところに生えるね。水の汚れや多少の塩分にも耐えられる強い草なんだよ。徳島県内でも平野部を中心にあちらこちらで見られるよ。



ボタンウキクサの花

Q.ボタンウキクサが、問題になってると聞きました。

少し前に、ピオトープの材料などとして、たくさん使われたこともあって、一般にもよく知られる水草になったんだけど、西日本各地で大繁殖して、問題になっているよ。成長が早くて、数週間もすると水面を覆い尽くすほどに増えるので、もともと生えていた水草が生育できなくなったり、魚や貝類が呼吸しにくくなってしまふことが知られているよ。漁業などへの影響も深刻で、毎年のように除去作業が行われているね。



川を埋め尽くすボタンウキクサ

Q.ボタンウキクサは何かの役に立たないのですか？

A 汚れた水をきれいにするのに利用されているけど、あまりこれといった利用方法は無いんだ。同じく外国から来たオオカナダモは、アルコールを作る材料になるんだけど、これも産業としては成り立っていないな。何か良い利用方法があるといいね。

A 南アフリカ原産の浮き草だよ。幅広い葉をたくさん付けて、水の上に広げた様子はボタンの花のように見えるね。ちなみに英語では、ウォーターレタスと言うよ。やはり見た目がレタスに似ているからついた名前かもしれないね。日本には、大正末から昭和初期に観賞用として導入されたんだ。徳島県では、1983（昭和48）年に、鯉の養殖場で採集された標本が残されているよ。



ボタンウキクサ

遠くアフリカからやってきたんだね！

コラム 栽培すると罰金！～特定外来生物～

外来生物法(正式名称：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)って聞いたことがあるかな？ 日本の生態系や人々の暮らしに悪い影響があると考えられる、外国から来た生物についての法律だよ。この法律で指定された生きものは、輸入、飼育、栽培、譲渡、保管、そして運搬が禁止されていて、違反すると3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金を支払うことになるんだよ。ボタンウキクサは、この法律で特定外来生物に指定されているので、家で栽培してはいけないんだ。他にもブラックバスやアライグマなど105種類が指定されているよ。

ボタンウキクサについてさらに詳しく知りたい人は……

徳島県立博物館企画展

『エイリアン・スピーシーズ～知られざる外来生物の姿～』

場所：徳島県立博物館企画展示室

期間：2013年7月19日（金）～9月1日（日）まで

お問い合わせ先：徳島県立博物館 088-668-3636